

令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和4年 4月19日(火)

2 調査対象 第6学年児童43名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数、理科)

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

上記①と②を一体的に問う。

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、おおむね全国平均でした。
算数は、おおむね全国平均でした。
理科は、おおむね全国平均でした。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

課題が見られた項目

●新聞を読んでいますか。

●自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか。

●地域の大人に、授業や放課後の勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える問題や、「事実」や「方法」を記述する問題に課題が見られました。本校では今後、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

・具体的に書く力を高めるため、自分の考えを理由や根拠を明確にして書く授業を実施する。

・すべての教科の授業で児童が積極的に考え、発表したり書いてまとめたりする場を多く設定する。

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○家庭学習について

・家庭学習時間の確保

○読書について

・家庭で読書する習慣づくり

○地域行事等への参加

・多くの人とのふれあい